

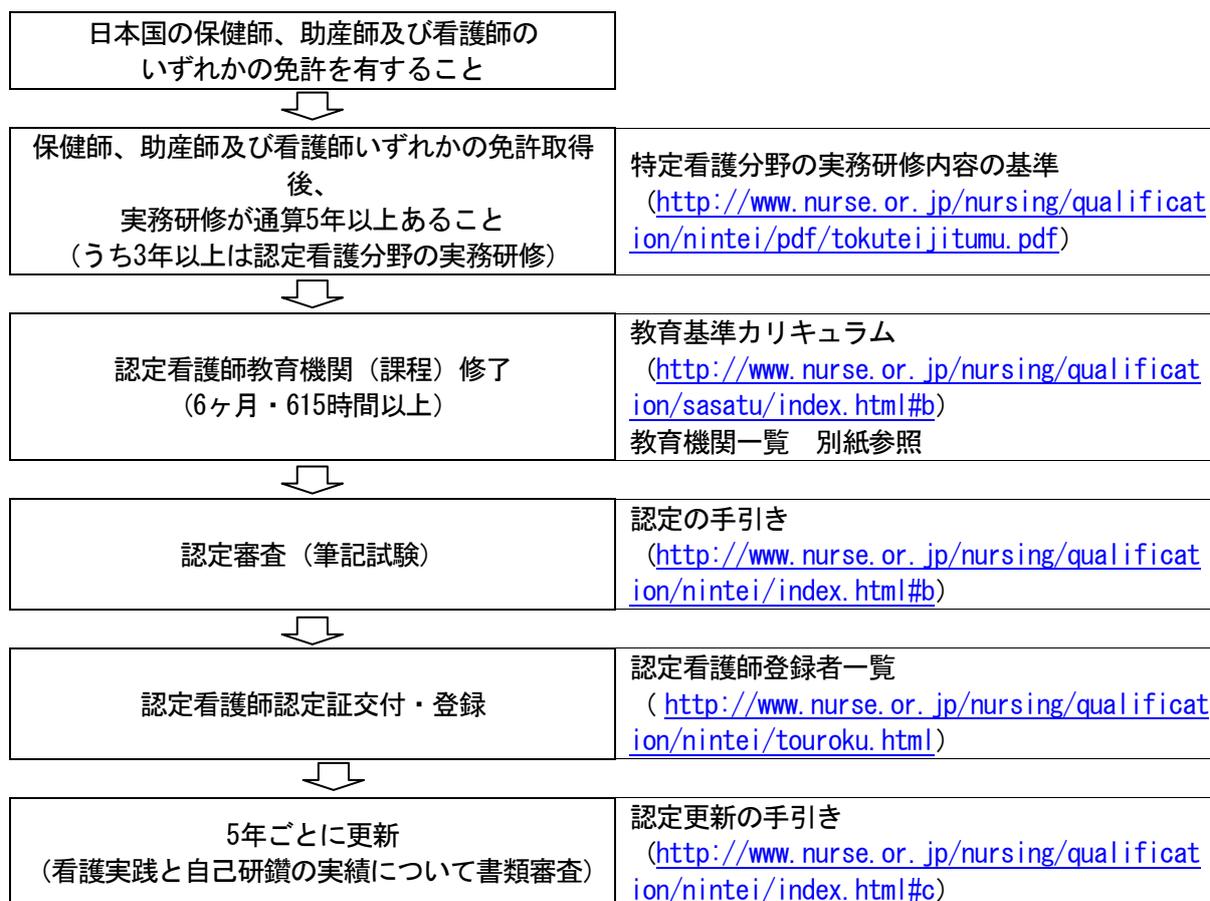
日本看護協会 認定看護師の概要について

認定看護師とは 本会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいう。

認定看護師の役割 認定看護師は、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する。

実践	特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
指導	特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に対し指導を行う。
相談	特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。

認定システム



認定看護師の養成状況

認定看護分野	養成課程数	養成定員	認定開始年	認定者数	認定看護分野別の知識と技術(一部)
救急看護	6	140	1997	506	1. 救急病態を理解した患者対応(救命技術・トリアージ・病態に応じたケア技術) 2. 危機状況にある患者・家族の支援(早期から対象に応じた危機介入、支援)
皮膚・排泄ケア	9 他、4課程 休校中	224	1997	1,389	1. ストーマ造設・褥瘡等の創傷及び失禁に伴い生じる問題のアセスメント及び適切な皮膚ケア 2. 排泄障害の病態理解及び個人に適した排泄管理、指導(オストミー・失禁ケア)
集中ケア	4	116	1999	531	1. 生命の危機状態にある患者の病態変化を予測し、重篤化を回避するための援助 2. 生活者としての視点からのアセスメント及び早期回復支援リハビリテーションの立案・実施(呼吸理学療法、廃用予防等、種々のリハビリテーション)
緩和ケア	9 他、1課程 休校中	234	1999	912	1. 徹底した苦痛症状の緩和(疼痛及び疾患に伴うその他の苦痛症状の緩和—リンパドレナージ、呼吸理学療法、口腔ケア等)及び療養の場に応じた患者・家族のQOLの向上 2. 患者・家族のグリーフケア
がん性疼痛看護	5	140	1999	458	1. がん性疼痛の全人的ペインアセスメントと症状マネジメント 2. 薬物療法の適切な使用と管理及びその効果の評価
がん化学療法看護	10	240	2001	625	1. がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理、副作用症状のマネジメント 2. がん化学療法を受ける患者・家族のアセスメント及び、問題に対するマネジメント能力向上のための支援
感染管理	9 他、3課程 休校中	255	2001	1,177	1. 疫学の知識に基づく院内感染サーベイランスの実践 2. ケア改善にむけた感染防止技術の導入(サーベイランスに基づく感染対策) 3. 各施設の状況にあわせた感染管理プログラムの立案と具体化
糖尿病看護	5	129	2002	248	1. 血糖パターンマネジメント(血糖コントロール管理) 2. フットケア(合併症予防) 3. ケアシステム立案(集団指導や地域ネットワークシステムにおけるチームアプローチの促進)
不妊症看護	1	15	2003	100	1. 生殖医療、遺伝学、リプロダクティブヘルスの知識に基づく不妊当事者へのケア計画の立案 2. 治療に対するカウンセリング、教育及び自己決定への支援
手術看護	1	30	2005	176	1. 麻酔、手術侵襲による心身への影響を最小限にするための安全管理(異常の早期発見・迅速な対応、術式に応じた卓越した機械出し技術、体温・体位管理、手術機材・機器の適正な管理等)
新生児集中ケア	2	60	2005	191	1. 急性かつ重篤な状態にある新生児に対し、後障害を予防し母体外での身体的、生理学的安定を図るためのケア 2. 養育行動障害の防止のための親子関係形成の支援
透析看護	1	20	2005	113	1. 末期腎不全患者に対し、専門的知識を用いた臨床判断に基づく個別的ケアと教育、及び自己決定の支援 2. 安全かつ安楽な透析治療の管理
小児救急看護	1	30	2006	111	1. 救急時の子どもの病態に応じたアセスメント及び症状マネジメント、救命処置技術 2. 子どもの非言語的サインの理解及び適切な心理的ケアの実施 3. 育児不安や虐待への対応と子どもと親の権利擁護
摂食・嚥下障害看護	3	80	2006	233	1. 脳神経・筋骨格系フィジカルアセスメント及び摂食・嚥下機能評価法に基づいた、摂食・嚥下機能の評価 2. 適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択、実施
乳がん看護	1	25	2006	135	1. 乳がんの集学的治療及び治療に伴う副作用に対するケアとセルフケア確立に向けた指導 2. リンパ浮腫予防、症状緩和についての指導 3. ボディイメージの変容に対する心理・社会的問題に対する支援
認知症看護	3	90	2006	122	1. 認知症患者の権利擁護として意思表示能力を補完 2. 認知症の周辺症状を悪化させる要因への働きかけによる、行動障害の予防、緩和 3. 認知症患者の状態把握を含む、心身状態の総合的なアセスメント及びケアサポートシステムの立案
訪問看護	4	105	2006	198	1. 主体性を尊重したセルフケア能力の向上のためのケースマネジメント 2. 看護技術・知識の提供及び管理・指導 3. 在宅ケアチームの形成とマネジメント
脳卒中リハビリテーション看護	6	160	2010	79	1. 脳卒中患者の重篤化回避のためのモニタリングとケア 2. 急性期から病態に応じた活動性維持・促進のための早期リハビリテーション 3. 脳卒中患者の急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援
がん放射線療法看護	2	60	2010	30	1. がん放射線療法を受ける患者・家族のアセスメント及びセルフケア支援 2. がん放射線療法における安全・安楽な治療環境の提供 3. がん放射線療法に伴う副作用の予防と症状緩和ケア

* 課程数は2011年度開講数、認定者数は2011年1月1日現在

出典: 日本看護協会HP

認定看護師への道 <http://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/howto/pdf/cenmiti.pdf>

認定看護師の知識と技術 <http://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/nintei/knowhow.html>